

その歌声は、
あまりにもはかなく、
美しい。

愛するがゆえに姿を消した男。
恋するために記憶の底で眠る女。
ひとりの若者が、オペラ座の封印を解き放つ。

「さらば、わが愛 覇王別姫」 「花の影」

レスリー・チャン 張國榮

夜半歌聲

やはん かせい

逢いたくて、逢えなくて

「恋人たちの食卓」

ウー・チエンリエン 吳倩蓮

「人生は琴の弦のように」

ホァン・レイ 黄磊

第15回香港電影金像賞 最優秀美術賞 最優秀衣装デザイン賞

監督:ロニー・ユー 于仁泰 (キラー・ワルツ 白痴電気伝) // 出品人:黄克海、黄百鳴、製作:黄百鳴、李華 / プロデューサー:張國榮 / 脚本:司徒慧焯、黄百鳴、于仁泰 / 撮影:鮑德熹 / 美術:馬碧超 / 音楽:鮑比達 / 衣装:張叔平

©1998 MANDARIN FILMS (SINGAPORE) PTE. LTD. ノベライゼーション:ピクチャーブックス オリジナルサウンドトラック:ROCK RECORDS 第15回金像賞

配給: アミュース

The
Phantom
Lover

夜半歌聲

やはん かせい

逢いたくて、逢えなくて

壮麗なオペラ座に封印された、愛の叙事詩。

廃墟となった劇場に響く、深夜の歌声。その魅惑の歌には悲しい恋人たちの果たせぬ想いがこめられていた……。

歌手として、俳優として、いまや全アジアを代表するスターとなったレスリー・チャン。この作品では歌手、俳優、作曲家、そしてプロデューサーとしての彼の魅力のすべてに出会うことができる。特に、90年以來停止していた歌手活動を本格的に再開することになった作品として、日本公開が熱望されていた作品である。

大スターの華やかさと、失意の底にある“怪人”の寂しさ、せつなさ

を絶妙に演じ分けるレスリーを筆頭に、悲恋のヒロイン、ウー・チエンリエン(恋人たちの食卓、謎の歌声に翻弄される若者に「人生は琴の弦のように」で盲目の少年を演じたホァン・レイらが鮮烈な魅力を放っている。90年代の香港映画を代表する映画人の手による絢爛たる様式美の世界も見逃せない。

オリジナルの「夜半歌聲(深夜の歌声)」(1937年 馬徐維邦監督、田漢脚本)は「オペラ座の怪人」をもとに、革命家の恋と挫折を描いた中国映画の古典として知られている。



若者は扉を開ける。闇の中に、怪人の涙が光るのが見えた——

1927年、北京、宗丹平(レスリー・チャン)の舞台「羅蜜歐・朱麗葉」はその斬新さと華麗さで一世を風靡し、彼自身が設計した壮麗なオペラ座も注目の的だった。タンピンに憧れるファンは数知れずいたが、彼が愛したのはただひとり、雲嬌(ウー・チエンリエン)という娘だった。しかし、時代も、社会も、ふたりの愛を許さなかった。財閥令嬢のユンエンは別の男と無理やり結婚させられた上、タンピンは何者かに襲われ、劇場もろとも炎に包まれてしまう。

それ以降、だれ一人タンピンの姿を見た者はいない。ただ、悲しみのあ

まり狂ってしまったユンエンだけが、来るはずのない恋人を、待ち続けている……。

10年がたった。旅回りの一座が、廃墟となったそのオペラ座にやって来る。深夜、若い劇団員のウェイチン(ホァン・レイ)は劇場に響く悲しい歌声を聞いた。人々の噂どおり、幽霊が出るのか? それとも?

そんなある夜、ウェイチンの前に、黒装束で身を包んだ“怪人”が現れる。愛するがゆえに、ユンエンの前から姿を消した“怪人”の悲しみを、ウェイチンは受けとめることができるのか……?



● 演員表 ●

タンピン……レスリー・チャン
ユンエン……ウー・チエンリエン
ウェイチン……ホァン・レイ

● 工作人員 ●

監督……ロニー・ユー(キララ・ウルフ 白髪魔女伝)
撮影……ピーター・パウ(アウンディ・ラウ 神鳥伝説)
美術……エディ・マー(ワンス・アポン・ア・タイム 天地大乱)
衣装……ウィリアム・チャン(欲望の翼、恋する惑星)
音楽……クリス・パビダ(つきせぬ想い)
プロデュース……レスリー・チャン

© 1995 東方電影(星加坡) MANDARIN FILMS 原題「夜半歌聲 The Phantom Lover」

香港映画 / カラー / ドルビーステレオ / シネマスコープ / 1時間38分 / 北京語

配給 (株) アミュース / ノバライゼーション:ピクチャーブックス オリジナルサウンドトラック:ROCK RECORDS 滝石唯片

2月上旬よりロードショー!!

特別鑑賞券絶賛発売中 1500円(税込)

(当日:一般 1800円 / 学生 1500円 / 小学生・シニア 1000円)

● 当劇場窓口および都内各プレイガイド、チケットセゾン、チケットぴあにてお求めください。

AMUSEホームページ(シネアミュースの情報がのっています) URL <http://www.999.com/amuse>

シネアミュース
CINE AMUSE
EAST & WEST

渋谷文化村通り 東急本店前 フォンティスビル4F
03-3496-2888

◎自由席・各回定員入替制 ■お立見及び上映開始後の入場はできません。
■場内での飲食はお断りしております。ロビーにてお召し上がりください。
■前日迄に混雑状況をご確認の上、お出かけください。

